

資料紹介

# 郵政資料館所蔵 往来物目録 (一)

田良島 哲

## はじめに

小稿は、郵政資料館が所蔵する江戸時代以降の往来物コレクションの古典籍としての目録である。『郵政省郵政研究所附属資料館 図書資料目録(下)』(平成四年七月)にはHANの分類の下に、影写本を含めて四〇〇点の記載があるが、同一書に異なる所蔵番号を付している場合があるため、タイトル数はこれを若干下回る。今回は、このうち約一〇〇件の書誌及び歴史的伝来を示す情報を掲載した。

当館の前身である郵便博物館⇨通信博物館が往来物の収集を始めたのは、創設後かなり早い時期であり、他の歴史的資料の収集と同様、当館コレクションの基礎を築いた樋畑雪湖(一八五八―一九四三)の発意になるものと考えられる。実際、今回調査した書籍の中に樋畑自身による寄贈が記されている本が含まれている。また多くの書籍には「郵便博物館図書」のラベルがあり、大正四年(一九一五)には目録が作成されているので、コレクションの主要部分の形成は郵便博物館時代の明治三十五年(一九〇二)から四十三年(一九一〇)にかけてであったものであろう。大正年間の通信博物館の展示目録によれば、すでに展示室内に一コーナーが設けられていた。

個別の往来物自体は、江戸時代広く普及していたもので、希少性があるわけではないが、本コレクションで興味深いのは、全国の郵便局を通じて

収集された経緯を物語る記述が認められることである。今回紹介した一〇〇件程度の中でも、北は青森県から、南は佐賀県までの伝来を示しており、往来物が文字どおり江戸時代の津々浦々で利用されていた事実を示す好適な史料となっている。

今回の往来物の調査は、二〇一〇年度と二〇一一年度の計四回、郵政歴史文化研究会の調査として実施したが、同時に郵政資料館のご理解の下、聖心女子大学の博物館実習の一環として同大学文学部四年の実習生が参加し、寸法・丁数などの調査を分担した。本目録はそれらの基礎データをもとに田良島の責任でまとめたものである。

## 凡例

- \*この目録には、名称・員数・成立年代・形状・寸法・丁数・題名・刊記・奥書・識語等の書誌的な項目及び伝来に関する情報を掲載した。
- \*名称は原則として内題を採り、内題が不明の場合はその他の題で適切なものを採用した。題が未詳の場合は調査者の付与した名称を「」で囲んで記した。
- \*文字は原文の記載に関わらず、現行通用の字体で示した。
- \*刊記・奥書等の改行は／で示したが、必ずしも原文の文字組を再現しているわけではない。
- \*表紙に「郵便博物館図書」と題するラベルを貼付しているものが多くある。

り、これらについてはその存在を注記した。  
 \*展示の題箋として利用されたと思われるカード状の用紙が挟み込まれている場合があり、これは目録中で「展示用題箋」として、必要に応じその内容を注記した。

一 庭訓往来 一帖

安土桃山時代 慶長四年写

綴葉装 縦二四・〇×横七・五センチ 八〇丁

(外題) 庭訓往来

(内題) 庭訓往来

(奥書) 慶長四年三月十日写畢 朝鮮参奉竹溪鄭大福書

二 自遣往来 一冊

江戸時代 宝永五年刊

袋綴装 縦二六・〇×横一九・五センチ 二〇丁

(外題) 自遣往来

(内題) 自遣往来

(刊記) 宝永五戊子歲初春吉日／武江書林林鶴堂／大伝馬三町目 鱗形屋

孫兵衛刊

※表紙貼紙に「寄贈 埼玉県北葛飾郡杉戸町 海老原三良平」とあり。郵便博物館図書ラベルあり。

三 十二月往来 一冊

江戸時代 正保四年刊

袋綴装 縦二七・七×一八・五センチ 一九丁

(内題) 十二月往来 菅丞相御製

(刊記) 正保二二年十一月吉日刊

※表紙大破。

四 庭訓往来 一冊

江戸時代 正保五年刊

袋綴装 縦二六・七×一八・一センチ 四六丁

(外題) 庭訓往来 正保五年古板

(内題) 庭訓往来

(刊記) 正保五年戊子二月吉日野田弥兵衛開板

※展示用題箋あり。「出品者樋畑雪湖」

※見返しの裏打ちに文書の反故を使う。

五 農業往来 一冊

江戸時代 元治元年写

袋綴装 縦二八・〇×二〇・五センチ 三二丁

(外題) 元治元年農業往来 □□ (破損)

(内題) 農業往来

(奥書) 元治元年甲子五月 佐藤宗吉

※郵便博物館図書ラベルあり。

六 御家花鳥往来 一冊

江戸時代 元治元年刊

袋綴装 縦二六・一×一八・一センチ 二二丁

(外題) 〈御家〉花鳥往来 全

(見返題) 滴泉堂先生書／〈御家〉花鳥往来 全／東都書林 衆芳堂梓

(内題) 花鳥往来

(刊記) 元治元甲子陽復／東都書林／芝飯倉町五丁目 大和屋作次郎梓

※展示用題箋あり「出品者 林理作寄贈」。郵便博物館図書ラベルあり。

七 庭訓往来 一冊

江戸時代 寛文三年刊

袋綴装 縦二七・五×一八・五センチ 五六丁

(外題) (欠)

(内題) 庭訓往来

(刊記) 寛文三年九月吉日

※見返しに「安次郎」の墨書、裏表紙に「寄贈 京都寺ノ内堀川郵便局長 奥村長蔵」の貼紙あり。郵便博物館図書ラベル、展示用題箋あり「出品者 堀川郵便局長」。

八一〇 女筆手本 三冊

江戸時代 元禄四年刊

袋綴装 縦二七・五×一八・八センチ、(上) 一六丁(中) 一二丁(下) 一四丁

(外題) (上) 女筆手本〈沢田の□□〉上 (中) (欠) (下) 女筆手本〈沢田のお吉(カ)〉下

(刊記) 此三冊洛陽住沢田氏以直筆令開板者也 元禄四辛未年孟春吉日／日本橋二丁目式部小路板木屋新助板／日本橋万町角 本屋清四郎行

(印記) (朱方印)「肖水文庫」

一一 千字文 一冊

江戸時代 十八世紀(カ)刊

袋綴装 縦二七・五×一八・五センチ 一七丁

(外題) 千字文 後

(刊記) 京車屋町押小路下ル町 村井新兵衛開板

※表紙に郵便博物館図書ラベル、「和歌山県橋本局 土屋主馬」等の貼紙あり。展示用題箋あり「出品者 土屋主馬氏」。

一二 (畿内名所尽し) 一帖

江戸時代 享保五年写

折本装 縦三三・八×横七・二センチ 四二折 (題なし)

(奥書) 享保五年蠟月上旬

※郵便博物館図書ラベルあり。

一三一五 女万葉稽古草紙 三冊

江戸時代 享保十三年刊

袋綴装 縦二六・七×横一八・四センチ (上) 一七丁(中) 一八丁(下) 一八丁

(外題) (上) (欠) (中) 女万葉稽古草紙(下) 女万葉稽古さうし

(刊記) 享保十三年神無月吉辰／京都二条通富小路東入町 山口茂兵衛開板／江戸日本橋南二丁目 小川彦九郎本出

一六一九 庭訓往来諺解大成 四冊

江戸時代 十八世紀刊

袋綴装 縦二五・五×一八・三センチ (一) 三二丁(二) 三二丁(三) 二六丁(四) 二六丁

(外題) 庭訓往来諺解大成(後補)

(内題) 庭訓往来諺解大成

各册表紙に郵便博物館図書ラベル、貼紙「寄贈 埼玉県北葛飾郡杉戸町 ※海老原三良平」とあり。展示用題箋あり「出品者 海老原三良平氏」。

二〇 六々文章 一冊

江戸時代 寛延二年刊

袋綴装 縦三二・〇×横二二・〇センチ 四五丁

(外題) 六々文章

(内題) 御家末流 臨池堂／六々文章並詩歌／皇都書林明誠堂梓  
(刊記) 寛延貳年巳年二月／寺町高辻上ル町 書林大和屋伊兵衛  
(印記) (朱方印)「肖水文庫」

※裏見返しに「田中氏 梅川(花押)」とあり。

二一 かりの行かひ 一冊

江戸時代 享和二年刊

袋綴装 縦二六・六×横一八・七センチ 三八丁 (外題) かりの行かひ

(刊記) 享和二年首夏発行／書肆 皇都錦小路室町西城戸市右衛門 同新  
町通御池南 林安五郎

(印記) (朱方印)「河合／田□□」(朱方印)「森茂蔵□□」(白文長方朱印)「□  
楚堂圖書記」

二二 年中時候往来 一冊

江戸時代 享和三年刊

袋綴装 縦一八・一×横一二・八センチ 一七丁

(外題) 〈泉花堂三蝶述／藤耕徳書〉年中時候往来 全

(内題) 年中時候往来

(刊記) 于時享和三年癸亥長月 泉花堂三蝶述／□耕徳書

(印記) (朱方印)「肖水文庫」

二三 古今銘物往来 一冊

江戸時代 享保十二年刊

袋綴装 縦二六・〇×横一八・五センチ 四二丁

(外題) 古今銘物往来

(内題) 古今銘物往来

(刊記) 右之一卷享保十二年丁未之曆盛夏上旬書綴之訖／有隣齋藤善吾(黒  
印形)「家正」／書林 大坂心齋橋筋順慶町柏原屋洪川清右衛門

(識語) (表紙見返し) 天保四年癸巳早春吉日 愛知郡山田村屋頭寫 稲垣

氏 (裏表紙見返し) 寛延二己巳年満月三日印之

(印記) (朱方印)「(印文未詳)」

※展示用題箋あり「出品者 佐藤吾一氏」

二四 〔女用書簡文〕 一冊

江戸時代 十八世紀刊

袋綴装 縦一三・三×横一九・六センチ 五一丁

(外題) (欠)

(識語) 此本何方へ□□チタ(カ)方へ御もどし可被下候／宝曆九年閏七

月

二五 〔三学往来才智箋〕 一冊

江戸時代 明和元年写

袋綴装 縦一〇・八×横七・七センチ 七二丁

(外題) 三学往来才智箋(後補)

(刊記) 明和元年甲申初冬 浪花高麗橋一丁目 浅野弥兵衛／皇都新町三

条上ル町 吉田善五郎板

※郵便博物館図書ラベルあり。

二六 寺子教訓書 一冊

江戸時代 明和九年刊

袋綴装 縦二四・二×横一六・五センチ 四丁

(外題) 寺子教訓書

(内題) 寺子教訓書

(刊記) 明和九辰年正秋中旬

※郵便博物館図書ラベルあり。

二七 庭訓往来 一冊

江戸時代 明和七年刊

袋綴装 縦二七・〇×一八・五センチ 五五丁

(外題) 〈真草□点〉庭訓往来 全

(見返題) 堂上家以秘本校正之／庭訓往来 全／撰陽書林 称觥堂 星文

堂定栄堂 合刻

(内題) 庭訓往来

(刊記) 明和七庚寅年春三月吉／浪華書肆 高麗橋老丁目 藤屋弥兵衛

順慶町五丁目 柏原屋清右衛門 心齋橋四丁目 吉文字屋市兵衛

二八 自遣往来 一冊

江戸時代 明和八年頃刊

袋綴装 縦二六・六×一七・八センチ

(外題) 長雄江戸往来

(内題) 自遣往来

(刊記) (なし)

(印記) (朱方印)「肖水文庫」

※巻末の「長尾先生手本物目録」に「明和八卯七月」とあり。

二九 女今川梅花文庫 一冊

江戸時代 安永五年刊

袋綴装 縦二五・一×横一七・九センチ 一五丁

(外題) (欠)

(内題) 女今川梅花文庫完

(刊記) 安永五歳丙申春三月吉辰／江戸本問屋 原本 西村伝兵衛板馬喰町

二丁目南角 永寿堂 西村屋與八再板

※郵便博物館図書ラベル、表紙貼紙「埼玉県北葛飾郡杉戸町 海老原三良

平寄贈」あり。

三〇 萬代節用字林蔵 一冊

江戸時代刊

袋綴装 縦二六・〇×一九・五センチ 二二〇丁程度

(外題) (欠)

※大破

※大正四年四月二十九日付 青森県士族須藤伝一郎からの寄付願を挟み込む。郵便博物館図書ラベルあり。

三一 宝珠庭訓往来如意文庫 一冊

江戸時代 天明六年刊

袋綴装 縦二六・五×横一七・八センチ 六〇丁

(外題) 宝珠庭訓往来如意文庫

(内題) 庭訓往来

(刊記) 天明第六丙午孟春春上桜／御江戸常盤橋御門ヨリ本町筋北エ八町目通油町／書林 耕書堂 蔦屋重三郎蔵板

※郵便博物館図書ラベル、表紙貼紙「埼玉県北葛飾郡杉戸町 海老原三良平寄贈」あり。

三二 年中往来用文章 一冊

江戸時代 天明七年刊

袋綴装 縦一八・二×横一三・八センチ 一五丁

(外題) 〈頭書絵入〉年中往来用文章

(刊記) 天明七年丁未春三月吉旦 江戸本材木町一丁目 書林 春松軒西

宮新六蔵板

(印記) (朱方印)「肖水文庫」

三三 自遣往来 一冊

江戸時代 天明八年刊

袋綴装 縦二六・五センチ×横一八・〇センチ 一九丁

(外題) 江戸自遣往来(後補)

(内題) 自遣往来

(刊記) 天明八歳戊申冬十月良辰 東都書林 本材木町壺丁目 春松軒西

宮新六梓行

※展示用題箋あり「樋畑雪湖出品」。

三四 〈百瀬〉隅田川 一冊

江戸時代 天明八年刊カ

袋綴装 縦二七・三×横一八・〇センチ 二二丁

(外題) 〈百瀬〉隅田川

(刊記) 書肆 芝神明町 奥村喜兵衛

※本文奥書「天明八戊申如月 耕曉石橋邦昌」

三五 女庭訓御所文庫 一冊

江戸時代 寛政二年刊

袋綴装 縦二五・五×横一八・五センチ 九六丁

(外題) (欠) ※付箋に「女庭訓御所文庫」とあり。

(内題) 女庭訓御所文庫

(刊記) 寛政二年戊戌九月吉日 画函洛西下河辺拾水子／彫刻石原半兵衛

／書林京寺町通松原上ル町菊屋七郎兵衛板

(印記) (黒円印)「津軽／松前屋／三馬屋」

※展示用題箋あり「水越正義氏寄贈」。

三六 謹身往来 一冊

江戸時代 十八世紀刊カ

袋綴装 縦二六・五×横一八・〇センチ 三七丁

(外題) 謹身往来 全

(内題) 謹身往来

(刊記) なし

※展示用題箋あり「樋畑雪湖」。

三七 寺子読書千字文 一冊

江戸時代 寛政十一年刊

袋綴装 縦二二・五×横一五・五センチ 一八丁

(外題) 〈真草両読〉寺子読書千字文 全

(見返題) 寺子読書千字文

(内題) 寺子読書千字文

(刊記) 寛政十一年未正月再板 作者筆工葛西水玉堂 彫工丹羽庄兵衛

帝都書林 五条橋詰葛西市郎兵衛寿梓

※郵便博物館図書ラベルあり。貼紙「和歌山県伊都郡橋本町 土屋主馬寄贈」あり。

三八 庭訓往来 一冊

江戸時代 寛政十二年刊

袋綴装 縦二二・三×横一六・三センチ 七八丁

(外題) (欠) ※後筆で「庭訓往来 全」の書込あり。

(内題) 庭訓往来

(刊記) 寛政七乙卯年 免許／同十二年庚申年正月刻成／大坂書林 奈良屋

長兵衛／京都書林 鈴木半兵衛 箸屋勘兵衛

三九 五節往来 一冊

江戸時代 文化二年刊

袋綴装 縦三二・〇×横二〇・〇センチ 二二丁

(外題) (欠) ※後筆で「法印永庵筆 五節往来」の貼題箋あり。

(本文奥書) 右五節往来者岩崎氏所持、予師法印永庵先生真筆無疑、可有

永久珍藏者也／文化二年乙巳四月 永庵門人 浅田幸啓(花押)

四〇 状文章 一冊

江戸時代 文化二年刊

袋綴装 縦二二・三×一六・〇センチ 三七丁

(外題) 状文章 全

(見返題) 状文章

(刊記) 文化二乙丑年三月吉日 浪華書林 心齋橋筋木挽中之町吉文字屋

鳥飼市左衛門／心齋橋博勞町少南勝尾屋 小林六兵衛

四一 〈御家〉書状用文安永鑑 一冊

江戸時代 文化四年刊

袋綴装 縦二二・〇×一五・七センチ 四六丁

(外題) 〈御家〉書状用文安永鑑 全

(刊記) 文化四年丁卯三月／京今井喜兵衛／江戸須原屋茂兵衛／同柏原

屋金兵衛／大坂柏原屋清右衛門

(印記) (朱方印)「吾唯知足」(長方印)「寄贈」

四二 〈改訂再板〉龍田詣 一冊

江戸時代 文化六年刊

袋綴装 縦一八・三×横一三・一センチ 一一丁

(外題) 〈改訂再板〉龍田詣 全

(内題) 龍田詣

(刊記) 文化六載己巳五月再板／書林御江戸本町筋通油町 耕書堂 蔦屋重

三郎梓

※郵便博物館図書ラベルあり。

四三 〈筆道幼学〉龍田詣 倭文章 一冊

江戸時代 文化六年刊

袋綴装 縦一八・〇×一二・五センチ 九丁

(刊記) 江戸通油町翠橋上 鶴屋喜右衛門板

四四 万法古状揃 一冊

江戸時代 文化七年刊

袋綴装 縦二五・八×横一八・〇センチ 二九丁

(外題) (欠) ※(後補貼題箋)「万法古状揃 全」

(見返題) 万法古状揃

(刊記) 文化七庚午初夏四月吉日上梓再刻 江都 書林繪草紙問屋 永寿

堂 西村屋與八板

四五 五節往来 一冊

江戸時代 文化九年刊

袋綴装 縦三二・一×横一九・二センチ 二二丁

(外題) 五節往来 全

(本文奥書) ※三九に同じ。

(刊記) 文化九年壬申孟春／皇都書肆 野田嘉助 伏見屋半三郎

四六 商売往来 一冊

江戸時代 文化九年刊

袋綴装 縦一八・二×横一三・〇センチ 一一丁

(内題) 商売往来

(刊記) 文化九年壬申秋七月吉日 江戸本問屋 馬喰町二丁目 錦森堂 森屋

次兵衛板

※表紙欠。郵便博物館図書ラベルあり。

四七 〈新撰増補〉大全商売往来 一冊

江戸時代 文化十一年刊

袋綴装 縦二六・七×横一七・七センチ 三二丁

(外題) 〈新撰増補〉大全商売往来

(見返題) 〈新撰増補〉大全商売往来

(内題) 〈新撰増字〉大全商売往来

(刊記) 文化十一年甲戌正月／東都書林 浅草南馬道町 桑村半蔵 白銀町四

丁目 大和田為助

※表紙貼紙あり「新潟県高田郵便局長寄贈」

四八 万宝古状揃文鑑 一冊

江戸時代 嘉永四年刊

袋綴装 縦二五・一×横一七・三センチ 二八丁

(外題) 〈変点頭書〉万宝古状揃文鑑

(刊記) 文化十一甲戌年三月再刻／天保三壬辰九月再刻／嘉永四辛亥年五

月再刻／地本問屋 江戸馬喰町二丁目南側 錦森堂 大森屋□□□

四九 商売往来 一冊

江戸時代 文化十二年刊

袋綴装 縦二五・二×横一七・四センチ 一二丁

(外題) (欠、後補貼題箋)「文化新板」商売往来」

(見返題) 大國商売往来宝蔵

- (内題) 商売往来  
 (刊記) 文化十二年乙亥五月新□／東都田□□／鶴屋□ (以下欠)  
 (印記) (黒円印) 印文未詳
- 五〇 童子諸礼躰方往来 一冊  
 江戸時代 文化十二年刊  
 袋綴装 縦一七・九×横一二・五センチ 一四丁  
 (外題) (頭書絵入) 童子諸礼躰方往来  
 (見返題) 童子諸礼躰方往来  
 (内題) 童子諸礼躰方往来  
 (刊記) 文化十二乙亥年発行 地本問屋 江戸馬喰町二丁目南側 錦森堂 森屋治兵衛版
- 五一 書簡文通童子便 一冊  
 江戸時代 文化十三年刊  
 袋綴装 縦一八・〇×横一二・八センチ 一五丁  
 (外題) (欠)  
 (見返題) 書簡文通童子便  
 (刊記) 文化十三丙子歳十月吉祥日／地本問屋 馬喰町二丁目 森屋治兵衛  
 ※郵便博物館図書ラベルあり。
- 五二 隅田川詣 一冊  
 江戸時代 文化十四年刊  
 袋綴装 縦一七・七×横一一・九センチ 一二丁  
 (外題) (欠)  
 (内題) 隅田川詣  
 (刊記) 文化十四年丁丑夏新刻／書林 江戸田所町 双鶴堂 鶴屋金助板
- 五三 (御家) 年中女用文章 一冊  
 江戸時代 文化十四年刊
- 袋綴装 縦二五・二×横一七・八センチ 一八九丁  
 (外題) (御家) 年中女用文章 全  
 (見返題) 御家臨泉堂先生筆／年中女用文章  
 (刊記) 文化十四年丑十月吉日刻成／東都書肆 芝明神前 岡田屋嘉七  
 本石町十軒店 英大助 日本橋通四丁目 須原屋茂兵衛  
 (印記) (白文朱長方印) 「史楚堂カ／図書記」
- 五四 四民往来 一冊  
 江戸時代 文政元年刊  
 袋綴装 縦一八・〇×横一二・七 一四丁  
 (外題) (欠)  
 (見返題) 四民往来  
 (内題) 四民往来  
 (刊記) 寛政二年庚戌正月発販／大伝馬町 榎本吉兵衛板／文政元年戊寅  
 五月再板／江戸書林 人形町通り 双鶴堂 鶴屋金助蔵板
- 五五 女中庸 一冊  
 江戸時代 文政二年補刻  
 袋綴装 縦二五・〇×横一六・〇センチ 五七丁  
 (内題) 女中庸  
 (刊記) 文政二歳己卯九月補刻／大坂書林 心齋橋博労町 伊丹屋善兵衛  
 同北久宝寺町 河内屋源七郎板  
 ※表紙欠損。郵便博物館図書ラベルあり。貼紙「陸奥国三厩村大字三厩二  
 テ使用、持主山田亀治 (ゴム印) 青森県東津軽郡三厩村 水越正義」
- 五六 百姓往来豊年蔵 二冊  
 江戸時代 文政三年刊  
 袋綴装 縦一八・〇×一二・五センチ 一五丁  
 (外題) (頭書調宝数条) 百姓往来豊年蔵  
 (見返題) 再訂百姓往来豊年蔵



(内題) 百姓往来

(刊記) 原板明和三年丙戌春発刊 再板寛政九年丁巳正月/此刻文政三年庚辰五月吉日/東都書肆 永寿堂 馬喰町式丁目 鱗形屋孫兵衛 西村屋與八板

※同一版三冊あり。郵便博物館図書ラベルあり。二二二に、(黒田印)「信州上田/田中/鎌原村」、及び展示用題箋「飯島保作氏寄贈」あり。

五七 公平往来 一冊

江戸時代 文政三年刊

袋綴装 縦一七・五×横一二・一センチ 一五丁

(外題) 〈世話字文章〉金平往来

(内題) 公平往来

(刊記) 文政三庚辰歲陞月吉日梓行/江戸書肆 神田弁慶橋通松枝町 文寿堂 丸屋文右衛門

五八 風月往来 一冊

江戸時代 文政四年刊

袋綴装 縦一七・三×横一二・〇センチ 一四丁

(外題) (欠)

(見返題) 風月往来

(内題) 風月往来

(刊記) 于時文政四年辛巳夏六月再板/江戸馬喰町二丁目 森屋治兵衛

五九 風月往来 一冊

江戸時代 文政四年刊

袋綴装 縦一八・〇×横一二・一センチ 一四丁

(外題) 風月往来

(見返題) 風月往来

(内題) 風月往来

(刊記) 于時文政四年辛巳夏六月再板 地本問屋 江戸馬喰町二丁目 森屋

治兵衛板

※郵便博物館図書ラベルあり。展示用題箋あり「樋畑雪湖」。

六〇 童子早学問 一冊

江戸時代 文政四年刊

袋綴装 縦一七・八×横一二・九センチ 一二丁

(外題) 〈文政新刻〉童子早学問

(見返題) 童子早学問

(内題) 童子早学問

(刊記) 文政四辛巳年発行/書林 江戸深川永代橋詰 伊藤與兵衛  
※郵便博物館図書ラベルあり。(裏表紙墨書)「嘉賀丸」

六一 妙義詣 一冊

江戸時代 文政四年刊

袋綴装 縦一八・五×横一三・〇センチ 一八丁

(外題) (欠)

(内題) 妙義詣

(刊記) 文政四年辛巳仲秋求版/地本錦絵問屋 江戸よし町川岸おやぢ橋  
角栄久堂 山本平吉板

※表紙ラベルに「樋畑」の小判印あり。

六二 消息往来 一冊

江戸時代 文政四年刊

袋綴装 縦一八・八×横一二・八センチ 五六丁

(外題) (欠)

(見返題) 〈文章法則〉御家流消息往来

(内題) 消息往来

(刊記) 文政四年辛巳秋求版/東都通油町緑橋西 書肆 僊鶴堂 鶴屋喜右衛門  
※表紙に「明治廿三年午八月吉日元(カ)之」の墨書あり。

六三 商売往来 一冊

江戸時代 文政五年写  
 仮綴 縦二七・二×二〇・五センチ 三一丁

(外題) 商売往来

(内題) 商売往来

※手習手本。落書多数あり。

六四 弓勢為朝往来 一冊

江戸時代 文政六年刊  
 袋綴装 縦二一・八×横一四・五センチ 十丁

(外題) 弓勢為朝往来 完

(見返題) 〈弓勢〉為朝往来

(内題) 弓勢為朝往来

(刊記) 文政六年癸未年／地本問屋江戸馬喰町二丁目 山口屋藤兵衛板

六五 〈御家〉諸用文通 一冊

江戸時代 文政六年刊  
 袋綴装 縦二五・九×横一八・〇センチ 四十二丁

(外題) 〈欠〉

(見返題) 〈御家〉諸用文通 新板全

(刊記) 寛政六寅歳五月刻／文政六未歳正月四刻／御家御門葉 橘正敬書

之(花押形)／東都書林日本橋通壱丁目 須原屋茂兵衛藏板

※(黒円印)「津軽／松前屋／三厩」あり。

六六 庭訓往来 一冊

江戸時代 文政七年刊  
 袋綴装 縦二五・〇×横一八・四センチ 六〇丁

(見返題) 〈文政新板〉庭訓往来

(内題) 庭訓往来

(刊記) 文政七年申八月 京都書林 三条麩屋町東江入吉野屋仁兵衛／室

町四条下ル鈴木半兵衛／蛸薬師高倉西江入山城屋佐兵衛  
 ※展示用題箋あり「出品者 七浦郵便局長」「使用地 肥前国七浦」。

六七 諸国名物往来 一冊

江戸時代 文政七年刊  
 袋綴装 縦一七・六×横一三・〇センチ 一二丁

(表紙欠)

(内題) 諸国名物往来

(刊記) 文政七甲申秋九月吉辰／東都書林馬喰町二丁目角 西村屋與八板

※郵便博物館図書ラベルあり。貼紙あり「埼玉県北葛飾郡杉戸町 海老原 三良平」。

六八 〈神功皇后〉三韓平治往来 一冊

江戸時代 文政八年刊  
 袋綴装 縦二一・五×横一四・九センチ 一二丁

(外題) 〈欠〉

(見返題) 神功皇后三韓平治往来「文政乙酉春新版」

(内題) 〈神功皇后〉三韓平治往来

(刊記) 東都書舗馬喰町二丁目 錦耕堂山口屋藤兵衛板

※表紙ラベルに「榎畑」の小判印あり。

六九 御家商売往来並官名 一冊

江戸時代 文政八年刊  
 袋綴装 縦二六・九×横一八・一センチ 一九丁

(外題) 〈坂川〉商売往来並官名 全

(見返題) 〈御家〉商売往来並官名

(内題) 商売往来

(刊記) 東都書林芝明神前 和泉屋吉兵衛

※郵便博物館図書ラベルあり。展示用題箋あり「使用地 信濃国更級郡青 木島村」出品者 宮下堯雄氏」

七〇 隅田川往来 一冊

江戸時代 文政九年刊

袋綴装 縦一八・三×横一二・七センチ 一二丁

(外題) (欠)

(見返題) 隅田川往来

(内題) 隅田川往来

(刊記) 文政九歳丙戌春新刻／書林 松屋善兵衛板

(印記) (朱方印)「吾唯知足」

七一 〈訂正絵抄〉校本庭訓往来 一冊

江戸時代 文政十年刊

袋綴装 縦二六・五×横一八・〇センチ 六六丁

(外題) 〈訂正絵抄〉校本庭訓往来 全

(見返題) 〈訂正絵抄〉校本庭訓往来

(内題) 庭訓往来

(刊記) 文政十丁亥歳十一月発行 浪華書肆 心齋橋通博労町 河内屋茂

兵衛

(印記) (朱方印)「肖水文庫」

※明治時代の再版か。

七二 農業往来 一冊

江戸時代 文政十二年刊

袋綴装 縦二四・七×横一七・五センチ 二四丁

(外題) 〈手本〉農業往来 全

(内題) 農業往来

(刊記) 文政十二年己丑正月発兌 書林 京都烏丸魚棚下ル菊屋源兵衛(他

四名連記)

(識語) 明治五年壬申神無月十五日 中嶋吉郎次主之

※郵便博物館図書ラベルあり。展示用題箋に「佐賀県 七浦郵便局長 寄贈」とあり。

七三 消息往来詳註 一冊

江戸時代 天保二年刊

袋綴装 縦二五・五×横一七・八センチ 二三丁

(外題) 消息往来詳註 全

(内題) 大全消息往来詳註

(刊記) 天保二年辛卯初夏新刻 書林 江戸通油町 鶴屋喜右衛門 江戸

日本橋南壱丁目 須原屋茂兵衛板

※展示用題箋に「樋端雪湖出品」とあり。

七四 〈作事註文〉番匠往来 一冊

江戸時代 文政十二年刊

袋綴装 縦二五・五×横一七・八センチ 一七丁

(外題) 〈作事註文〉番匠往来 全

(見返題) 〈作事註文〉番匠往来 全

(内題) 番匠往来

(刊記) 文政十二丑年十月再板 江戸書林 須原屋茂兵衛／須原屋善五郎

／北嶋順四郎

七五 教訓往来 二冊

江戸時代 天保二年刊

袋綴装 縦一八・〇×横一二・五センチ (一) 一五丁 (二) 一四丁

(外題) (欠)

(内題) 教訓往来

(刊記) 天保二年辛卯二月吉日 地本問屋 錦森堂 東都馬喰町二丁目 森屋

治兵衛板

※同一書二冊。(一)(二)とも郵便博物館図書ラベルあり。(一)裏表紙に墨書「前山村」あり。(二)裏表紙墨書あり。

七六 合書童子訓 一冊

江戸時代 天保七年刊

袋綴装 縦二二・〇×横一五・五センチ 五一丁  
 (外題) 〈教訓絵抄／幼学重宝〉合書童子訓全  
 (見返題) 天保七年内申歳新版合書童子訓 全  
 (刊記) 文政八乙酉歳発兌 天保六乙未年再版 書房江戸須原屋源助(以下略。他名古屋・京・大阪の書肆六名を連記)  
 ※表紙見返しに「酒井蔵書」、裏表紙に「元治二年乙丑正月吉日酒屋嘉左衛門」などの墨書がある。

七七 諸職往来 一冊

江戸時代 天保八年写  
 袋綴装 縦二五・八×横一八・六センチ 一六丁(表紙共)  
 (外題) 諸職往来 角長之助  
 (奥書カ) 天保八酉弥生

七八 江戸往来 一冊

江戸時代 天保九年写  
 袋綴装 縦二八・五×横一八・五センチ 六六丁(表紙共)  
 (外題) 江戸往来 角鹿之丞  
 (内題) 江戸往来  
 (奥書) 于時天保九年亥九月上旬

七九 国つくし 一冊

江戸時代 天保十三年写か  
 袋綴装 縦二三・〇×横一五・五センチ 六丁  
 (外題) 国つくし  
 (識語) 天保十有三子晚春 三宅逸(カ)翁  
 ※「郵便博物館図書」ラベルあり。

八〇 名字往来 一冊

江戸時代 天保十一年刊

袋綴装 縦一七・八×横一一・七センチ 八丁  
 (外題) 〈頭紋尽／諸家〉名字往来  
 (見返題) 新撰名字往来  
 (内題) 名字往来  
 (刊記) 天保十一年辛丑年正月吉辰新刻 書林甘泉堂 江戸芝神明前三寫  
 町和泉屋市兵衛板  
 郵便博物館図書ラベルあり。

八一 風月往来 一冊

江戸時代 天保十二年写か  
 袋綴装 縦二六・六×横一九・〇センチ 一八丁  
 (外題) 風月往来 仙田屋鹿之丞  
 (奥書) 天保十二丑初秋

八二・八八 庭訓往来 天・地 二冊

江戸時代 天保十二年写か  
 袋綴装 縦二八・三×二〇・〇センチ (天) 七六丁(地) 五三丁  
 (外題) (天) 庭訓往来 天 仙田屋鹿之丞 (地) 庭訓往来 地  
 (内題) (天) 庭訓往来 (地) (なし)  
 (天・裏表紙墨書) 天保十二丑季冬  
 (識語) (地・裏表紙) 元治二星宿丑如月日 角長之助蔵本

八三 雅俗要文 一冊

江戸時代後期 一九世紀刊  
 袋綴装 縦一七・五×横一一・七センチ 九二丁  
 (外題) 雅俗要文  
 (内題) 雅俗要文  
 (刊記) 東山御用 御書物所 江戸下谷御成道 青雲堂英文蔵製  
 (印記) (朱方印) 「吾唯知足」  
 ※天保辛丑春日の序がある。

八四 錦繡商売往来大成 一冊

江戸時代 天保十三年刊

袋綴装 縦一七・五×一二・〇センチ 一三丁

(外題) 欠

(見返題) 錦繡商売往来大成

(内題) 商売往来

(刊記) 天保十三壬寅年再板/地本問屋 錦森堂 森屋治兵衛板

(識語) (裏表紙) 堀田嶋之丞領分 下総国千葉県荳田町 杉山安次郎求之

安政六未年正月吉日

八五 十二月のうた 一冊

江戸時代 天保十三年写か

袋綴装 縦三〇・〇×横二一・〇センチ 五丁

(外題) 十二月のうた 天保拾三年寅七月吉日 御館村 藤谷武右衛門 藤

谷悦蔵

※郵便博物館図書ラベルあり。展示用題箋に「出品者平戸郵便局」とあり。

八六 世話千字文 一冊

江戸時代 天保十四年刊

袋綴装 縦一七・八×横一二・三センチ 一二丁

(外題) (欠)

(内題) 世話千字文

(刊記) 天保十四卯年仲夏吉祥日 江戸神明前之嶋町 書肆甘泉堂 和泉屋

市兵衛梓

(印記) (朱方印)「吾唯知足」(黒円印)「三州/角丸/安城」。

八七 謹身往来宝蔵 一冊

江戸時代 天保十四年刊

袋綴装 縦二二・五×横一五・六センチ 三三丁

(外題) (欠、墨書で「謹身往来」と追記)

(見返題) 平仮名附 謹身往来宝蔵 全

(内題) 謹身往来

(刊記) 天保十四癸卯年再刻 東都書肆永寿堂蔵梓

(識語) 于時万延元庚申霜月求之 頸城郡角川村太田与止衛門所持

※表紙貼紙に「新潟県高田郵便局長寄贈」とあり。

八九 日本往来 一冊

江戸時代後期 十九世紀刊

袋綴装 縦二一・五×横一五・五センチ 九七丁

(外題) □本往来 御家□

(内題) 日本往来

(印記) (朱長方印)「計其」

※郵便博物館図書ラベルあり。展示用題箋に「使用地 豊後大分」「牧野雄

氏寄贈」とあり。表紙墨書「文久元歳西四月吉日」。

九〇 〈首書読法〉庭訓往来具註抄 一冊

江戸時代 弘化三年刊

袋綴装 縦二五・八×横一八・〇センチ 八七丁

(外題) (後補) 庭訓往来具註抄

(見返題) 〈首書読法〉庭訓往来具註抄 全

(内題) 庭訓往来具註抄

(刊記) 天保五年甲午極月新板 弘化三年丙午三月再刻 書肆 尾州名古

屋本町七丁目 永楽屋東四郎(下略) 京・大阪の書肆五名を連記)

(印記) (黒円印)「津軽/松前屋/三厩」

※表紙貼紙に「陸奥国三厩村大字三厩持主山田亀次 出品人青森県津軽郡

五厩町水越正義」の墨書あり。「郵便博物館図書」のラベルあり。

九一 洛陽往来并文章 一冊

江戸時代 弘化三年刊

袋綴装 縦二六・五×横一八・〇センチ 二〇丁

(外題) 洛陽往来并文章  
(見返題) 洛陽往来并文章  
(刊記) 東都書林 山青堂梓

九二 問屋往来絵抄 一冊

江戸時代 弘化四年刊

袋綴装 縦一〇・八×横八・〇 四三丁

(外題) 傍問屋往来絵抄 全

(内題) 問屋往来

(刊記) 弘化四丁未三月 浪華書肆 心齋橋通小久郎町河内屋喜兵衛 同  
南久太郎町河内屋又一郎

九三 新春帖書札文集 一冊

江戸時代後期 十九世紀刊

袋綴装 縦一八・〇×横二六・五センチ 三二丁

(外題) 新春帖書札文集

(刊記) 東都書林 芝明神前 和泉屋吉兵衛

(印記) (白文朱長方印)「史楚カ堂/図書記」

九四 用文章 一冊

江戸時代後期 嘉永元年写

袋綴装 縦二七・四×横二〇・〇センチ 三五丁

(外題) 用文章

(識語) 嘉永元年孟夏月書 佐久郡高野町領右衛門弟三男 高見沢九作有

主

※郵便博物館図書ラベルあり。

九五 手習双紙 一冊

江戸時代 嘉永二年写

仮綴 縦三三・〇×横二五・〇センチ 二三丁 (表紙共)

(外題) 手習双紙 嘉永二年正月吉日  
※子供の手習いを綴じたもの

九六 絵本庭訓往来 二冊

江戸時代 嘉永元年刊

袋綴装 縦二二・五×横一五・七センチ (一) 九一丁 (二) 三二丁

(外題) (一) 絵本庭訓往来全 (二) 絵本庭訓往来中編全

(内題) 庭訓往来

(刊記) (一) 江戸芝明神前三嶋町 和泉屋市兵衛 尾州名古屋本町通七丁目 永楽屋東四郎  
(二) 書肆 尾州名古屋本町通七丁目 永楽屋東四郎 江戸日本橋本銀町

二丁目 右出店

(印記) (一) (六角朱印)「紙文庫」

※(二)に展示用題箋あり「出品者 樋畑雪湖」。挿絵葛飾北斎。

九七 童子古状揃 一冊

江戸時代 嘉永三年刊

袋綴装 縦一一・八×横八・八センチ 一四六丁

(外題) (欠、後補で「寺子日用 童子古状揃 全」)

(見返題) (寺子日用) 童子古状揃 全

(刊記) 嘉永三秋 大坂書林 近江屋善兵衛 秋田屋市兵衛

九八 風月往来 一冊

江戸時代 嘉永三年刊

袋綴装 縦二七・七×一五・八センチ 三〇丁

(外題) 風月往来 全

(見返題) 風月往来

(内題) 風月往来

(刊記) 嘉永三年初夏 青雲堂 英文蔵梓

※裏表紙見返しに「コノヌシマンキチ」とあり。

九九 諸職往来 一冊

江戸時代 嘉永三年刊

袋綴装 縦一八・〇×横二一・〇センチ 一八丁

(外題) 〈新板増補〉諸職往来

(見返題) 〈新板増補〉諸職往来

(内題) 諸職往来

(刊記) 嘉永三年庚戌初夏吉辰再刻 東都書肆 芝明神前三島町 甘泉堂和泉屋市兵衛板

一〇〇 養蚕往来 一冊

江戸時代 嘉永三年刊

袋綴装 縦一七・五×横一一・五センチ 一二丁

(外題) 〈新撰〉養蚕往来 頭書養蚕図絵 全

(内題) 養蚕往来

(刊記) 嘉永三庚戌歳八月改正 東都通油町 藤岡屋慶次郎板

(印記) (朱印) (印文未詳)、(朱長方印)「文久童」

(たらしま さとし 東京国立博物館書跡・歴史室長)